

平成 25 年度図書館情報メディア系プロジェクト研究 研究成果報告書

種 目	国際交流支援		研究代表者 氏 名	水嶋 英治
連携先	ブリティッシュコロンビア大学(UBC) 図書館・アーカイブズ・情報学部 (カナダ)			
研究組織 (研究代表者及び研究分担者)				
氏 名	所属研究機関・部 局・職	現在の専門	役割分担	
水嶋英治	教授	博物館情報学	①UBC との研究協力協定締結のための事前打 合せ、②UBC 教授招聘講演会の実施	
溝上智恵子	教授	高等教育政策	上記①	
国際交流の目的および実績				
本学と UBC はすでに全学的な交流協定を締結しているが、交流形態は「大学院生交流協定」および「学部学生交流協定」であるため、学術研究水準の向上を図り国際的視野を持つ人材(大学院生も対象)の養成を目的に、「研究交流協定」を本系と標記学部との間で締結してはどうかという提案を行い、事前打合せのため現地を訪問した(2013 年 9 月)。また、Dual Degree の検討を始めるため UBC 教育学部との関係者とも協議した。 本年 3 月には、本系とのより一層の交流を深めるため、UBC より博士課程専攻長(前学部長)を本学に招聘し、講演会を開催した。				
国際交流の成果				
(1) 研究協力協定の締結準備				
UBC 訪問後、研究協力協定の原案を図書館アーカイブズ情報学部に送り、協定案の文言の検討まで至った。また教育学部からも前向きな回答を得て、協定案の文案を送り、文言の検討を行っている最中である。(今後は学内手続きを進めると同時に、具体的な共同研究の内容について今後どのように進めていくか検討していく必要がある)。 教育学部とは Dual Degree まで進めたいと考えているところであるが、UBC の学内手続き等があるため最低 2 年にかかるとのことであった。その間、事務的な手続きを含めさらに準備していきたいと考えている。面会者は次の通りである。				
図書館アーカイブ情報学部				
●学部長 Caroline Haythornwaite, Director & Professor, the iSchool at UBC				
教育学部				
●学部長 Blye W.Frank.PhD. Dean and Professor				
●学部長上級補佐 国際関係担当 Thomas J.Sork,PhD, Senior Associate Dean, International and Administration, Professor, Adult Education				
●教育学部教授 David Anderson, Faculty of Education, Dept. of Curriculum and Pedagogy, museum educatin & visitor studies				
●教育学部教授 Peter Seixas, Professor and Chair of Canada Research				

(2) 国際シンポジウムの開催

UBC から Edie Rasmussen 教授を招聘し、知的コミュニティ基盤研究センターと共同で、3 月 24 日に「Information School の開発のこれまで」と題し国際シンポジウムを開催した。

(詳細は http://www.kc.tsukuba.ac.jp/assets/files/Symposium2014_0324.pdf)